スタートアップ・エコシステム共創プログラム

記入要領、記入例は削除して提出ください。

IJIE-GAPファンドプログラム 2025

 （ステップ１「スタートアップ枠（プレ）」）

研究開発課題　申請書

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　年　　月　　日提出

**１．研究開発期間（予定）**

西暦2025年　　月　　日～西暦2026年　3月　31日

**２．申請課題名称**

**３．連絡先情報**

（１）研究代表者：

氏名： フリガナ：

生年月日：西暦　　　　年　　月　　日　（　　歳）

所属機関：

部署： 役職：

住所：〒

電話： E-mail：

（２）研究機関担当者（産連本部等の起業支援人材）：

氏名： フリガナ：

※産学連携本部等、大学として本課題を支援して頂く担当者（本プログラムでは起業支援人材等を想定）を記入してください。

所属機関：

部署： 役職：

住所：〒

電話： E-mail：

（３）事務担当者：

氏名： フリガナ：

所属機関：

部署： 役職：

住所：〒

電話： E-mail：

**４．提案分野**

※左の表で該当する分野のチェック欄に、「レ」を記入ください（複数選択可）。

※「その他」の場合は内容を自由に記載ください。

※ライフサイエンスとそれ以外の研究分野に分けて審査を実施します。

|  |  |
| --- | --- |
| 研究開発分野 | チェック欄 |
| A　ライフサイエンス |  |
| B　アグリカルチャー |  |
| C　環境・エネルギー |  |
| D　ナノテクノロジー・材料 |  |
| E　情報通信・データ |  |
| F　その他 |  |

「その他」の研究開発分野の内容　：

※キーワードはe-Radによる応募時に表示される区分のうち、小区分レベルのものを記載してください。

（例：材料力学、加工学、生産工学）

　審査区分表：

https://www.mext.go.jp/content/20220318-mxt\_gakjokik-000021232.pdf

○シーズのキーワード：

＜各項目共通事項＞

※査読者にポイントが伝わりやすいよう、図表グラフ、具体的なデータ等を積極的に用いてください。

**５．構想**

（１）概要：

※　本事業により開発する製品・サービスにより、どのように顧客の課題を解決するのか、課題を解決することでどのような価値が創出される事業を実施する計画であるか、２００字程度で簡潔に記載してください。

（２）顧客候補：

※　以下の内容は記載ポイントの例示です。可能な限り調査や顧客インタビュー等のエビデンスに基づき検証の上、記載してください。

●価値を提供する顧客の想定を業種、職種、地域等も含め、可能な限り具体的に記載してください。その際、ビジネスを始める際の最初の顧客は誰なのか、を明らかにして記載してください。

1. B2Bの場合、想定される顧客となる企業を具体的に記載してください。
2. 創薬ビジネスの場合、対象となる患者および、提携先の製薬メーカーを具体的に記載してください。
3. 地球・宇宙規模の社会課題解決を目指し、まだ顧客が見えない場合、現段階で想定される顧客を記載し、課題を推進する中で情報収集に努めてください。

●ステップ１においては、想定顧客候補等に対するヒアリングの計画（時期やヒアリング対象、件数等）を記載してください。ステップ１においては、研究代表者等が主体となって、起業支援人材や事業化推進機関等と協力して、想定顧客候補等に対するヒアリングを数件実施することが必須となります。

（３）顧客の課題：

※　以下の内容は記載ポイントの例示です。可能な限り調査や顧客インタビュー等のエビデンスに基づき検証の上、記載してください。

●顧客の課題（ペイン）について具体的に記載してください。

●現時点で存在する課題解決策（製品・サービス等）の内容とその問題点についても記載してください（既存の解決策がない場合は、ない旨を記載してください。）

（４）製品・サービスの独自価値：

※　以下の内容は記載ポイントの例示です。可能な限り調査や顧客インタビュー等のエビデンスに基づき検証の上、記載してください。

●シーズを核にどのような製品・サービスを構想しているか、またその特徴や魅力（新しい付加価値）について顧客視点も踏まえ詳細を記載してください。

●独自の価値の記載に当たっては、他社の商品・サービス構想との性能、コスト等を含めた比較を行い、メリット、デメリットについて記載してください。

（５）解決手段：

1. シーズの詳細

※創出を目指すスタートアップの核となる研究成果を基にしたシーズについて詳細を記載してください。

※シーズに関する研究開発の進捗状況を含めてください。

1. シーズの革新性・優位性（類似技術・先行技術等の状況分析含む）

※比較対象となる技術の文献・特許、公開情報に関する内容を記載してください。現時点で、直接的に比較できる対象がない場合、対象を広げ、将来、後追いで競合となりうる関連技術、周辺技術、代替技術などの脅威を記載してください。

※国内外の類似研究・先行技術の進捗状況、達成見込みについて分かる範囲で調べて記載してください。

※将来（短期および中長期）、競合技術との競争環境がどのような状況となるか、可能な範囲で予測して、記載してください。

※類似技術・先行技術等の状況分析を踏まえ、シーズの革新性・優位性について、記載してください。

1. シーズに関する知的財産の取得状況（周辺特許を含む）及びそれらのアライアンスやライセンス契約等の状況

（取得または出願済みの知的財産のリスト）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 発明の名称 | 特許番号または出願番号 | 出願日 | 出願人 | 発明者 | 備考 |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |

（アライアンスやライセンス契約等の状況）

（知的財産戦略）

※特許を取得している場合、発明の名称、特許番号（または出願番号）、発明者、出願人、出願日を記載下さい。特許以外の知的財産権の場合も、同様の情報を記載ください。

　　記載例：aaaの装置およびその製造方法、第xxx号(特願20yy-zzz)、○○○○、xyz大学、20xx年y月z日出願

※将来、当該シーズによるスタートアップを創出しようとした場合、シーズの発明者およびシーズが帰属する機関等（出願人）の同意が得られているかについて必ず記載してください。

※当該シーズについて、既に企業と共同研究を行っている場合やライセンス契約等がある場合は、その状況について具体的に記載ください。

※当該シーズの知的財産の先行技術に対する競争優位性と、今後に向けた知的財産戦略についても具体的に記載してください。

1. シーズに関する研究業績

※シーズに関係する研究論文、国際会議での発表、著書があれば記載ください(シーズと関係ない研究論文等は記載する必要はありません)。

※箇条書きとし、著者名、タイトル、掲載誌名（書籍名）、巻、号、ページ、発行年等の情報、また、評価者がポイントをおさえやすいように、概要も含めて記載ください。

※論文等の業績が多い場合、本提案に関係する業績に絞り込んでください。

1. シーズの創出、育成に寄与した公的支援の獲得状況（国外のものを含む）

※当該シーズの創出に関して、支援を受けた競争的研究費、助成金などについて記載ください。

（６）規制・事業化リスク：

※　以下の内容は記載ポイントの例示です。

●法規制への対応（医薬品・医療機器、遺伝子組換え食品等）が必要な場合は必ず記載してください。

●スタートアップ設立に向けて想定される事業面でのリスクと対応方策について記載してください。

●既存技術の改良や競合（後追いの潜在を含む）の技術開発動向を踏まえ、競争優位性を損なうリスク要素を検討し、対応策を記載してください。

（７）研究開発課題を推進する体制：

※研究開発課題を推進する体制について記載してください。

※ステップ１においては、研究代表者、研究機関の起業支援人材の役割分担と責任の所在を明確にして記載してください。

※必要に応じて、体制図等を用いて記載してください。

（８）研究開発課題終了時の達成目標とマイルストン：

（A）事業開発計画および研究開発計画

※達成目標およびマイルストンの設定にあたってはスタートアップ・エコシステム共創プログラムの公募要領「第1章 1.1.5 (1)」の記載や図を参照の上、設定してください。

※マイルストンは、事業化に向けて解決が必要、もしくは、リスクマネー調達に向けて優先的に実施すべき事業開発および研究開発の実施項目毎にその内容、規模（研究開発費、実施期間、担当者など）を記載してください。複数ある場合、箇条書きで分けて記載してください。

※マイルストンの妥当性は評価の重要な項目の1つとなります。

※課題推進工程表の記載と齟齬がないようにご記載ください。

【課題終了時の達成目標】

○総合的な達成目標

○事業開発に関する達成目標

○研究開発に関する達成目標

○課題の推進体制に関する達成目標

【マイルストン（中間時点での達成目標）と実施内容】

＜２０２５年度＞

〇事業開発

マイルストン：

実施内容：

〇研究開発

マイルストン：

実施内容：

（９）圧倒的な優位性　：

※　本事業により創出するスタートアップが持つ、先行企業にない製品・サービスの圧倒的優位性、社会を革新するようなインパクトについて記載してください。

**６．スタートアップ設立に向けた計画**

（１）スタートアップ設立予定時期：

※スタートアップの設立予定時期を記載してください。

（２）設立するスタートアップのEXITの方針：

※EXITの方針について記載して下さい。またEXITを目指して、どのような資金調達を行って（融資、自己財源、ベンチャーキャピタルからの出資、公的資金等）で企業運営していくのか、方針を記載してください。

　　例： ・国内マーケットを強く意識し、金融機関から○億円の融資を受けて運営し、○年後にIPOを目指す。

・ベンチャーキャピタルから○億円の出資を受けて、グローバル展開を見据え、○年後にIPOを目指す。

 ・金融機関から○億円の融資を受けて運営し、○年後に事業会社へのM＆Aを目指す。

・ベンチャーキャピタルから○億円の出資を受けつつ、グローバル展開を見据えて○年後にIPOを目指すが、○○という状況になった場合は、EXITをM＆Aに切り替える。

（３）ステップ１終了後のスタートアップ設立に向けた活動の方針

※ステップ１終了後に、スタートアップ設立に向けて、どのような活動を行うのか記載してください。

（ステップ２への申請を希望する場合）

※VC等の事業化推進機関候補の確保の状況について記載してください。

※経営者候補人材、その他事業化に必要な人材の確保策について、保有するネットワーク等も含めて、可能な範囲で記載してください。

※ステップ２におけるマイルストン、実施内容を可能な範囲で記載してください。

（スタートアップの設立を予定している場合）

※経営者候補人材、その他事業化に必要な人材の確保策について、保有するネットワーク等も含めて、可能な範囲で記載してください。

※設立するスタートアップの経営に研究代表者がどう関与していくのか（将来的にどのような関与をしていく予定なのか）を記載してください。（本項目の設置意図として、研究代表者がスタートアップの経営の中核に関与することを求めるものでは全くありません。）

※設立するスタートアップのリスクマネー調達計画として、提案時点での資本政策（粗い内容で可）、もしくは、具体的に調達目標とする年次、金額、調達先などについて、表を用いて説明ください。

**７．課題推進工程表**

【課題推進工程表】

|  |  |
| --- | --- |
| 項目 | 2025年度 |
| 第1四半期 | 第2四半期 | 第3四半期 | 第4四半期 |
| 1. **顧客ヒアリング**
 |  |  |  |  |
| 1. **研究開発**
 |  |  |  |  |
| **3. 知財戦略** |  |  |  |  |
| **4. 規制・事業化リスクへの対応** |  |  |  |  |
| **5. 推進体制** |  |  |  |  |
| **６． 経営者候補人材の確保と育成** |  |  |  |  |
| **7. 資金調達** |  |  |  |  |
| **8. 国際市場への展開準備** |  |  |  |  |

※本様式はこの体裁によらず、自由に作成いただいて構いません（別の様式で作成いただいてかまいません）。ただし、事業化に向けた達成目標およびマイルストンをどのように考えて、スタートアップをどのように設立するのかが、しっかりとわかるように作成してください。また、記入要領、記入例は削除して提出ください。

**８．課題の推進体制の詳細**

（１）研究代表者

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **氏名** | **所属機関名** | **部署名** | **役職** | **役割分担** | **ｴﾌｫｰﾄ(%)** |
| ○山○夫 | ○○大学 | 大学院工学研究科 | 准教授 | 研究代表者：研究開発全体の統括、○○の知財取得 | 20 |

（２）主たる共同研究者

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **氏名** | **所属機関名** | **部署名** | **役職** | **役割分担** | **ｴﾌｫｰﾄ(%)** |
| ○山○夫 | ○○大学 | 大学院工学研究科 | 教授 | 研究開発項目の中で、○○○を担当 | 20 |

※　研究代表者の所属機関（A）と異なる研究機関（B）に研究開発費が必要である場合、研究機関（B）における責任者（IJIEの主幹機関もしくはSU創出共同機関所属の教職員のみ）を記載ください。研究代表者と同一の所属機関に属する場合には主たる共同研究者に該当しません。

再委託の実施は認めておりませんので、主たる共同研究者の所属する共同研究開発機関とJSTが直接、委託契約を行います。必要に応じて欄は追加してください。該当者がいない場合、空欄のままにしてください。

（３）その他参画者（事業開発・研究開発に必要となる主要な参加者）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **氏名** | **所属機関名** | **部署名** | **役職** | **役割分担** | **ｴﾌｫｰﾄ(%)** |
| ○藤○子 | ○○大学 | 大学院工学研究科 | 特任助教 | 経営者候補：ビジネスモデル検証、顧客候補の評価結果入手 | 20 |
| ○村○郎 | ○○大学 | 大学院農学研究科 | 准教授 | ○○試験、カルタヘナ法対応 | 20 |
| ○○○○ | ○○大学 | 大学院工学研究科 | 研究員 | △△試験、特許明細作成、先行文献調査※（１）～（３）以外の方で課題を推進する上で重要となる参加者について記載してください。※経営者候補がいる場合は本欄に記載ください。※経営チーム組成などに向け活用する外部人材等や、具体的に事業開発を行う人材がいれば、本欄に記載ください。 | 100 |
| ○○○○ | ○○大学 | 産学連携本部知財部 | 係長 | 知財権利化 | - |
| ○○○○ | △△大学TLO株式会社 |  | マネージャー | アライアンス探索、競合知財調査・知財戦略 | - |

（４）活用を想定する外部リソース

※事業開発・研究開発にあたり現状活用を想定している主な外部リソースと依頼内容を記載してください。

※必要な助言や支援を得るためのネットワークの具体的な想定があれば記載してください。

※課題の推進にあたり、外部リソースを活用した方が、効果的・効率的と思われる事項については、積極的な活用を推奨します。

**９．研究代表者等の専門分野・研究開発経歴等がわかる略歴**

（１）研究代表者

※研究代表者等について、専門分野や研究開発経歴などがわかる略歴を各人につきＡ４・１枚以内で記載してください。ただし、本課題に関連するキャリア等に絞ってください。

※研究代表者にスタートアップを起業した経験がある場合、経歴に記載してください。

※事業化推進機関に関連する実績や略歴については様式４にご記載いただきます。

（２）主たる共同研究者

**１０．大学等への資金循環に向けた取組について**

※大学発新産業創出基金事業では、大学等の研究成果の社会還元を推奨するため、産学官に金融機関等を加えた、産学官金が連携して持続的な仕組みとしての大学等発スタートアップの創出・成長に向けたエコシステムの構築を目指しています。

※本プログラム期間中の起業前段階、さらにはスタートアップ設立後も含めて、エコシステムの構築に向けた取り組みとして検討している事をご説明ください。

例：

・大学等がシーズの権利を有している場合 → 知財ライセンス、株式取得（ストックオプション等）

・大学等がシーズの権利を有していない場合 → スタートアップ設立後に大学に一定額（ストックオプション等含）を寄付

**１１．利益相反マネジメントに関する検討**

※研究代表者が類似事業のスタートアップの経営に関与している場合や、研究開発参加者が類似の既存事業に関与している場合などの状況を記載ください（過去に関与していた場合も含めて明記ください）。

　例）

　　　・研究代表者が大学発スタートアップＡ社の取締役を兼業している

　　　・経営者候補が、スタートアップＢ社の取締役である

※上記状況について、利益相反の関係が想定される場合は、当該関係を具体的に記載し、実施する利益相反マネジメントを説明ください。

**１２．他制度での助成等の有無（民間財団・海外機関を含む）**

・研究代表者及び主たる共同研究者が現在受けている、あるいは申請中・申請予定の国の競争的研究費制度やその他の研究助成等（民間財団・海外機関を含む※）について、研究開発課題ごとに、研究開発課題名、研究費の額、研究期間、役割（代表／分担）、本人受給研究費の額、エフォート、実施・申請に当たっての所属機関と役職、提案課題との相違点・関連性を記入してください。(公募要領「4.2 不合理な重複・過度の集中に対する措置」)

・国内外を問わず、競争的研究費のほか、民間財団からの助成金、企業からの受託研究費や共同研究費などの研究資金について全て記載してください。

・本公募プログラムの申請内容と関連のないものについても記載してください。

・間接経費を含めた額を記載してください。

・事実と異なる記載をした場合は、研究課題の不採択、研究の中止又は減額配分とすることがあります。

（１）研究代表者：○○ ○○

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **番号** | **制度名** | **受給****状況** | **研究課題名****(代表者氏名)** | **研究****期間** | **役割****(代表/****分担)** | **(1)本人受給研究費****(期間全体)****(2) 〃 (2026年度 予定)****(3) 〃 (2025年度 予定)****(4) 〃 (2024年度 実績)** | **2025年度****ｴﾌｫｰﾄ(%)** |
| - | スタートアップエコシステム共創プログラム | 申請 | 提案課題名（〇〇〇） | 2025.4－2028.3 | 代表 | (1)　　千円(2)　　千円(3)　　千円 | 8.課題の推進体制と同値を記入 |
| 1 | 科学研究費補助金基礎研究(S) | 受給 | ○○の創成（〇〇〇） | 2023.4－2026.3 | 代表 | (1)　100,000　千円(2)　 50,000　千円(3)　 25,000　千円(4)　 5,000　千円 | 20 |
| ※ 本申請との切り分け（簡潔に記載） |
| 2 | JST戦略的創造研究推進事業（CREST） | 申請 | ○○の高機能化（〇〇〇） | 2024.10－2029.3 | 分担 | (1)　 60,000　千円(2)　 20,000　千円(3)　 8,000　千円(4)　 - | - |
| ※ 本申請との切り分け（簡潔に記載） |
| 3 |  |  |  |  |  | (1)　 　千円(2)　 　千円(3)　 　千円(4)　　　　　 千円 |  |
| ※ 本申請との切り分け（簡潔に記載） |

（２）主たる共同研究者：○○ ○○

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **番号** | **制度名** | **受給****状況** | **研究課題名****(代表者氏名)** | **研究****期間** | **役割****(代表/****分担)** | **(1)本人受給研究費****(期間全体)****(2) 〃 (2026年度 予定)****(3) 〃 (2025年度 予定)****(4) 〃 (2024年度 実績)** | **2025年度****ｴﾌｫｰﾄ(%)** |
| - | スタートアップエコシステム共創プログラム | 申請 | 提案課題名（〇〇〇） | 2025.4－2028.3 | 代表 | (1)　　千円(2)　　千円(3)　　千円 | 8.課題の推進体制と同値を記入 |
| 1 | 科学研究費補助金基礎研究(S) | 受給 | ○○の創成（〇〇〇） | 2023.4－2026.3 | 代表 | (1)　 50,000　千円(2)　 20,000　千円(3)　 20,000　千円(4)　 5,000　千円 | 10 |
| ※ 本申請との切り分け（簡潔に記載）※共同研究機関が無く、該当者がいない場合、記入不要です。※必要に応じて追加してください。 |
| 2 |  |  |  |  |  | (1)　 　千円(2)　 　千円(3)　 　千円(4)　　　　　 千円 |  |
| ※ 本申請との切り分け（簡潔に記載） |

**１３．面接審査の実施について**

面接審査の日程は、以下を予定しております。

出席可能なお時間に、なるべく多くチェックをしてください。

お預かりした希望をもとに、書類審査結果通知時に、面接審査の時間をお伝えします。

（アグリカルチャー、環境・エネルギー、ナノテクノロジー・材料、情報通信・データ、その他）

６月１０日（火）　　□　9:00～10:00 □ 10:00～11:00 □ 11:00～12:00 □ 12:00～13:00

　　□ 13:00～14:00 □14:00～15：00 □ 15:00～16:00 □ 16:00～17:00

（ライフサイエンス）

６月１１日（水）　　□　9:00～10:00 □ 10:00～11:00 □ 11:00～12:00 □ 12:00～13:00

　　□ 13:00～14:00 □14:00～15：00 □ 15:00～16:00 □ 16:00～17:00

＜面接審査実施概要＞　※現在の予定ですので、今後変更となる場合があります。

・発表時間7分、質疑応答10分です。

・発表資料は別紙「面接審査発表資料」を参考に、ご作成ください。

・オンラインで実施します（当日ご自身で画面共有をお願いします。）。

・発表資料は暫定版を事前にご提出いただく予定です。提出期限は、書面審査を通過した方にご連絡します。